

感謝のことば

筑波大学に留学して私は学の道のみならず、人間の愛情と徳についても大きな教訓を得ました。

指導教官、ゼミの先生、審査委員諸先生の深い学問と人格及び弟子に対する温かい愛情に常に接していたからであります。

大山耕輔先生は浅学でまた日本語も完全でない私を筑波大学に受け入れて下さいまして、学問上の指導は勿論のこと、日常のことについてもいろいろと気遣っていただきました。

先生の優しい笑顔と温かいお人柄は私の生きて行くための模範になっています。行政指導の重要性と位相を深く研究なされた先生は、特に拙論の政策過程の項目について、その具体的な事例の分析による新しい方法を教えて下さいました。その方法による先生の先行研究がなかったならば拙論の成立は不可能でありました。

中村紀一先生には、休講のない二年間のゼミを通じて、学問の深遠と研究者の誠実性を教わりました。拙論は先生の御指導と御教示に負うところ甚大であります。

進藤栄一先生には、先生のゼミに参加させていただき、幅広い学問の世界に接することができました。また拙論に対する御高見もいただきました。

古田博司先生は韓国の諸事情に造詣が深く、拙論の日・韓両国の比較について多大な御教示と補完をしていただきました。

行政法専攻の櫻井敬子先生は、法律の知識のない私に行政指導における法律上の限界とその有効性について、親切に教えて下さいました。

鈴木庸夫先生にも拙論の行政法とのかかわりについて、有益でありたいご教示をいただきました。

拙論審査の時、先生方は論理の展開や構成の部分はもとよりのこと、字句に至るまで何度も親切に修正して下さいました。心より深く感謝いたします。

拙論作成にあたって、資料蒐集に御協力下さった航空政策研究会事務局長の山本雄二郎先生、また東日本鉄道文化財団の関係者諸位にも厚くお礼申し上げます。

2000年 4月

李容相